

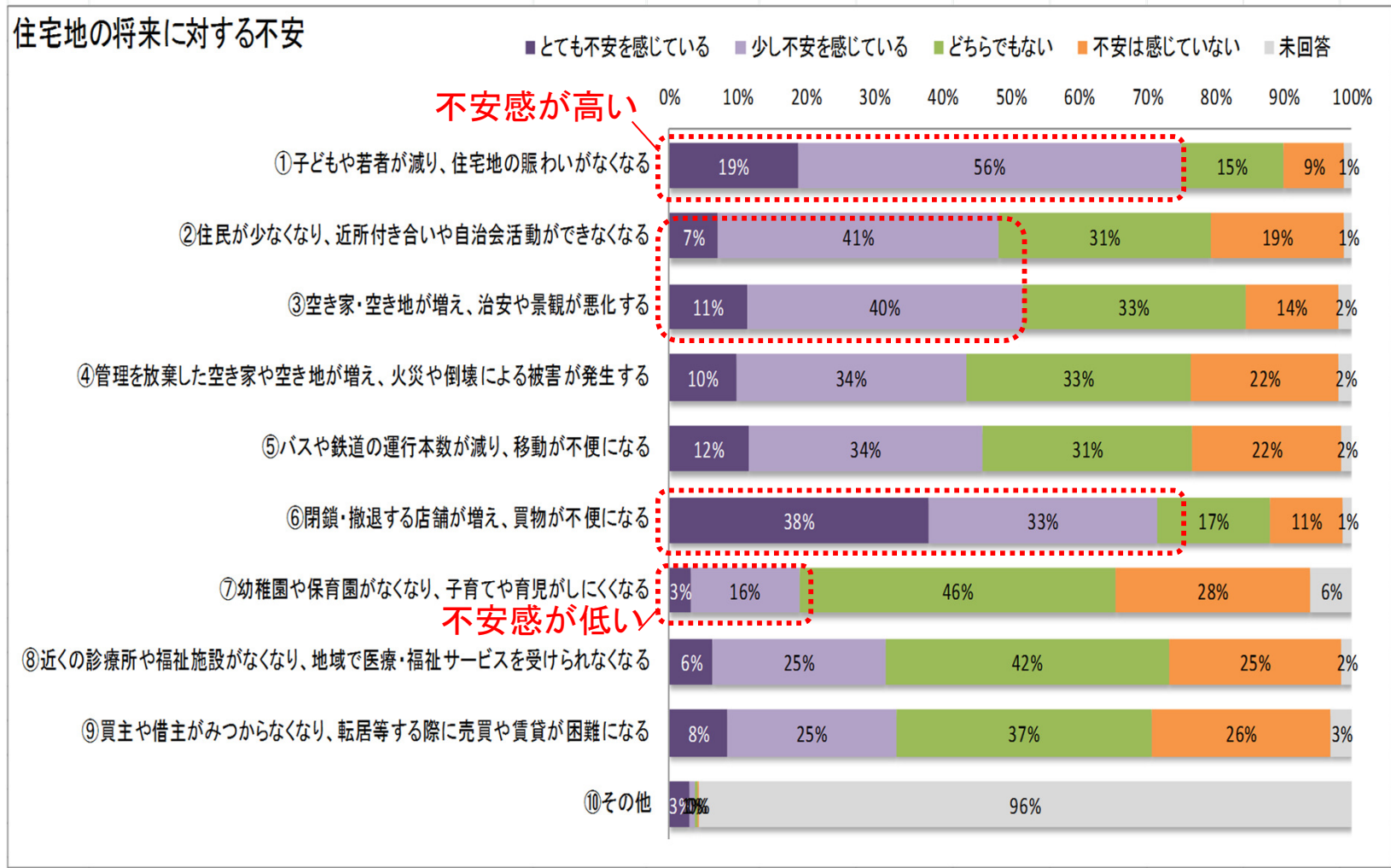


モデル団地における意向調査結果 ④

○団地の将来については、「賑わいがなくなる」「自治会活動ができなくなる」「空き家等が増え治安・景観が悪化する」「店舗等が撤退し買い物が不便になる」など、住民が減ることに起因する不安感が高い

■アンケート結果例<あすか野>

○住宅地の将来に対する不安<あすか野>



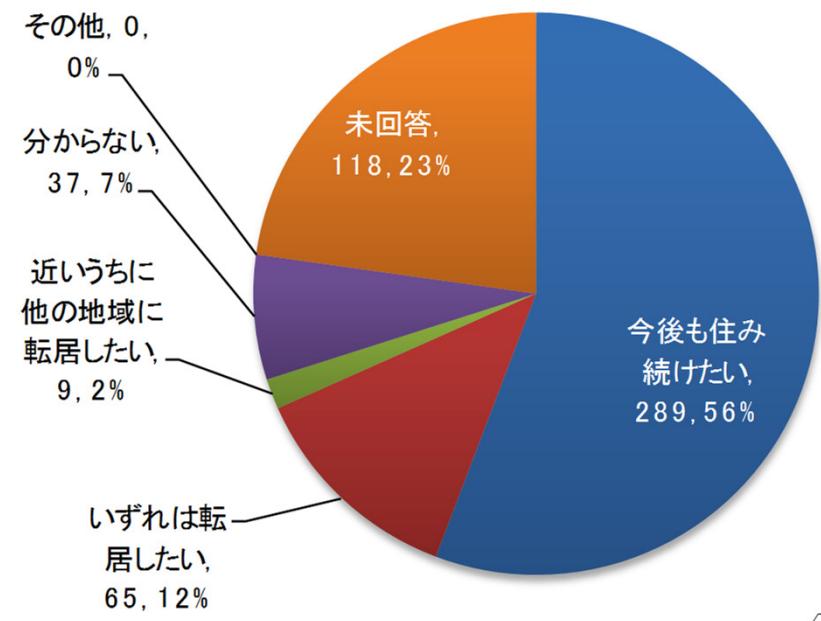


モデル団地における意向調査結果 ⑤

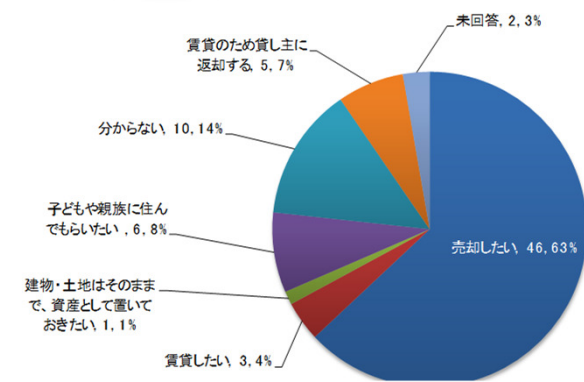
○団地内に今後とも住み続けたいという回答は3団地とも5割前後
 ○いずれは又は近いうちに「転居したい」方の理由としては、「坂の少ない地域に住みたい」「利便性の高いところに住みたい」「高齢者向けの住宅等に住みたい」というものが多い(3団地共通)

■アンケート結果例<あすか野>

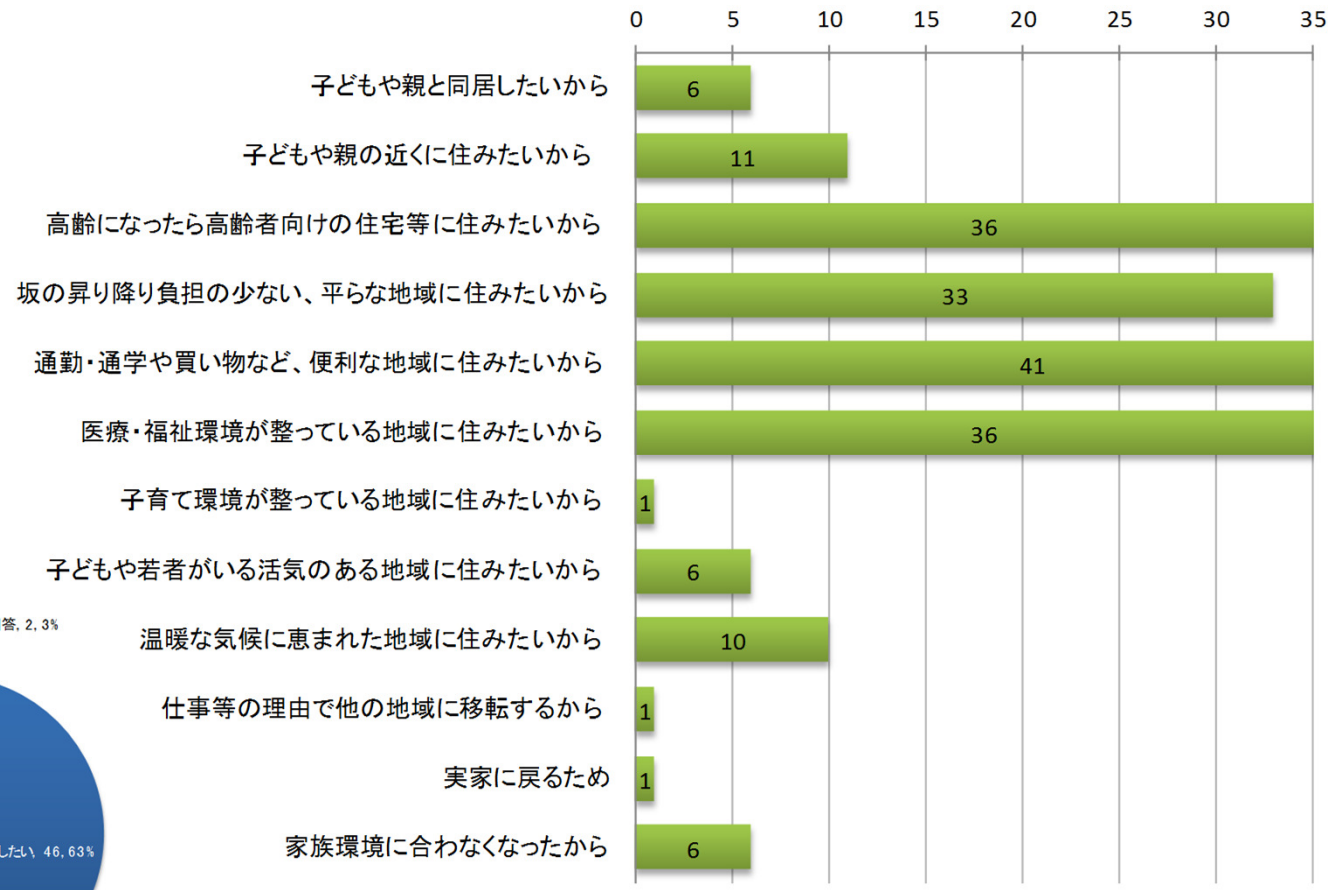
○今後の居留意向<あすか野>



○転居後の住宅について<あすか野>



○転居したい理由(3つまで)<あすか野>



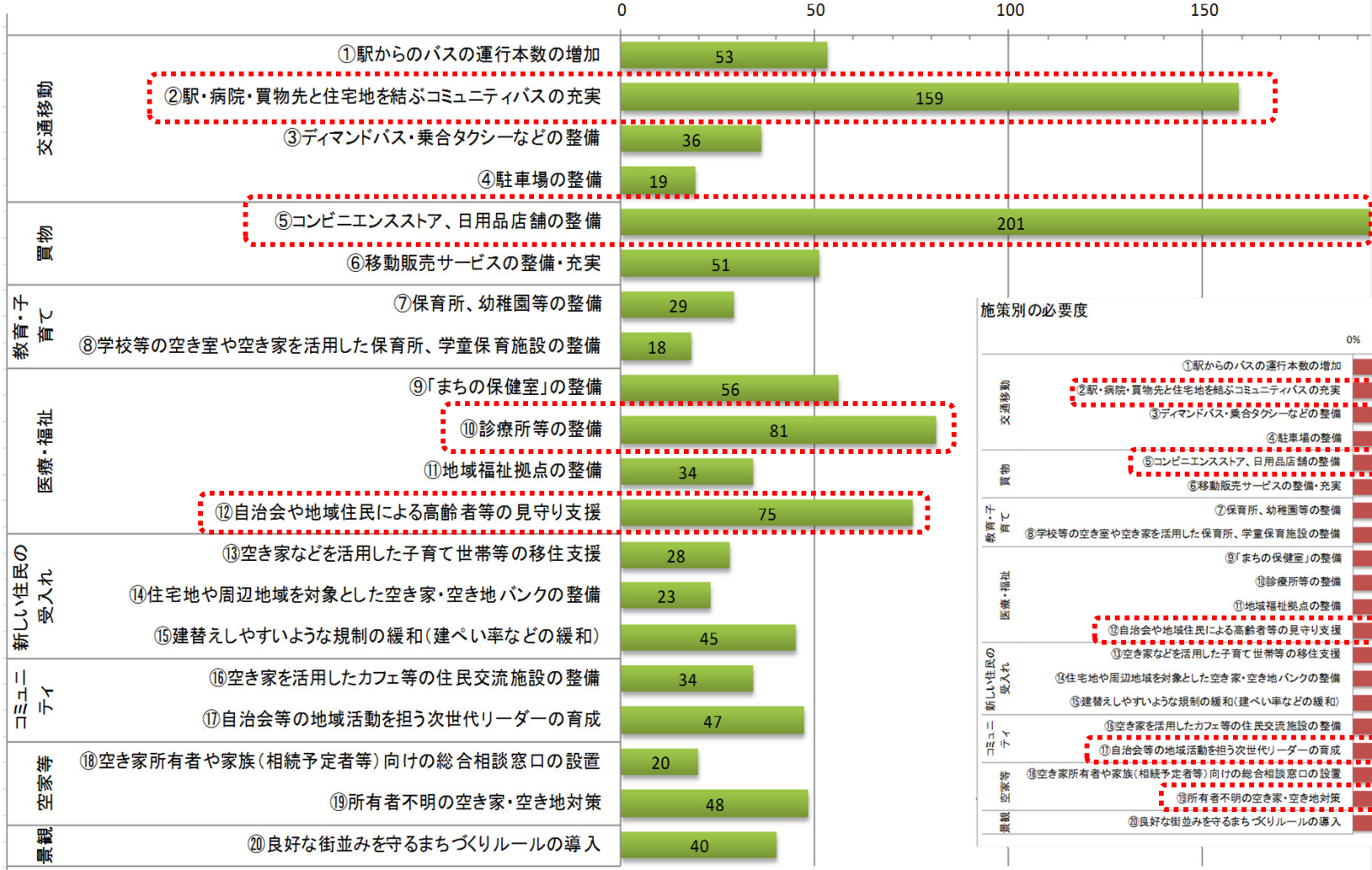


モデル団地における意向調査結果 ⑥

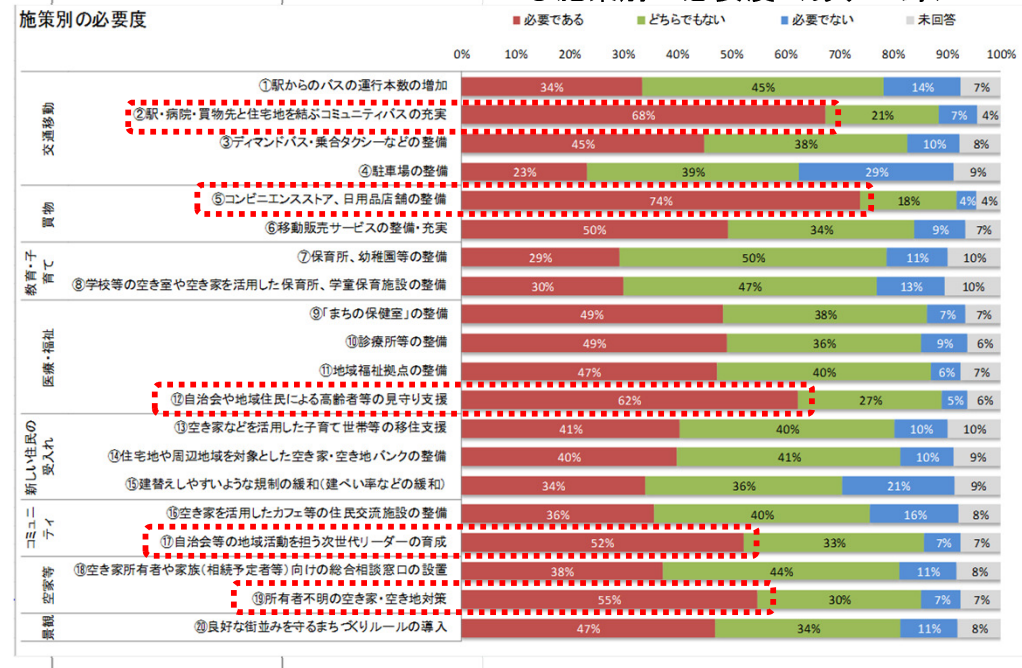
○住環境を維持・向上するために必要と思う対策としては、「コミュニティバスの充実」は3団地共通で多かったが、日用品店舗や診療所等の充実や、見守り支援等については団地毎で違いが出た

■アンケート結果例〈あすか野〉

○今後住環境を維持・向上するために最も必要な対策(3つまで)〈あすか野〉



○施策別の必要度〈あすか野〉



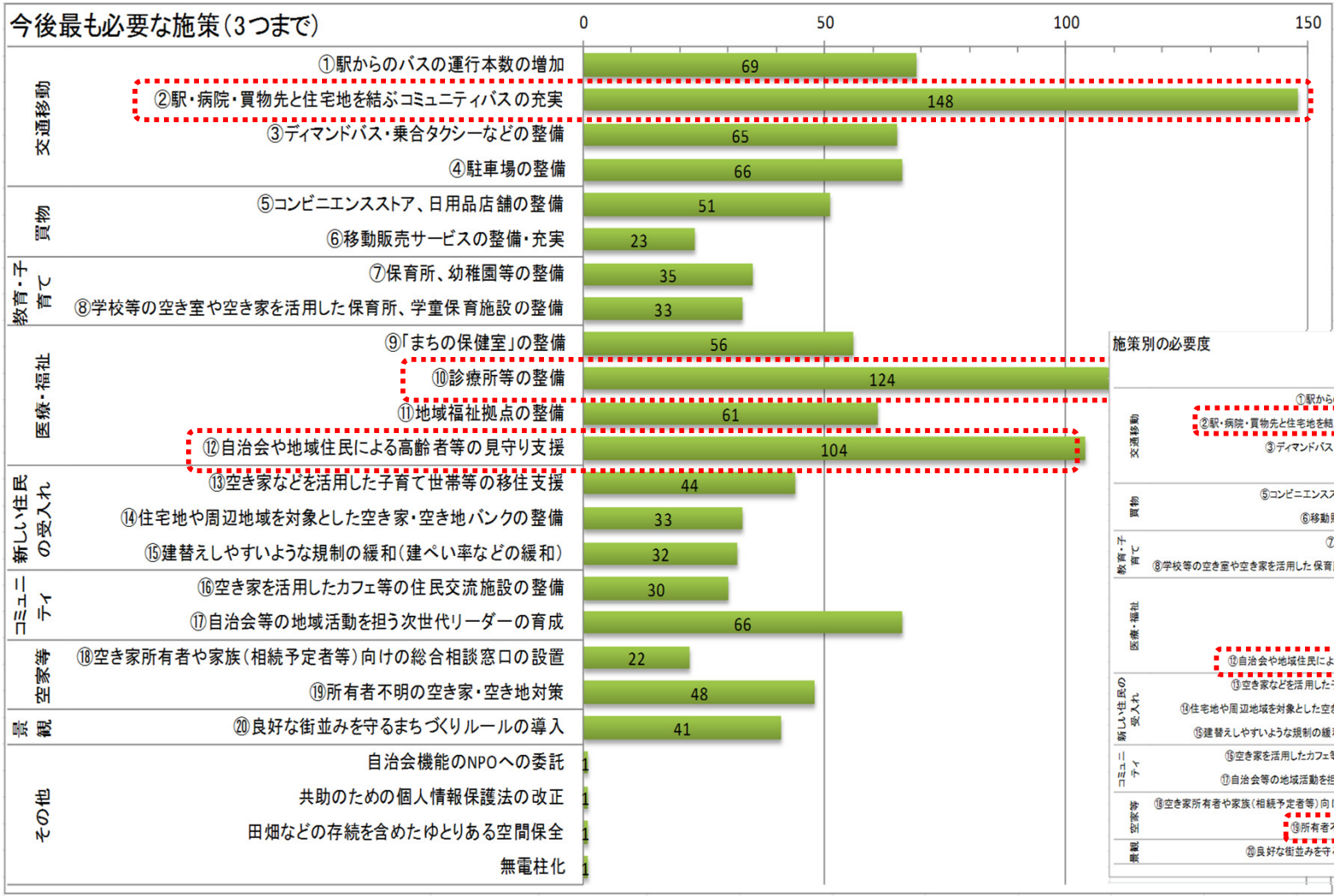


モデル団地における意向調査結果 ⑦

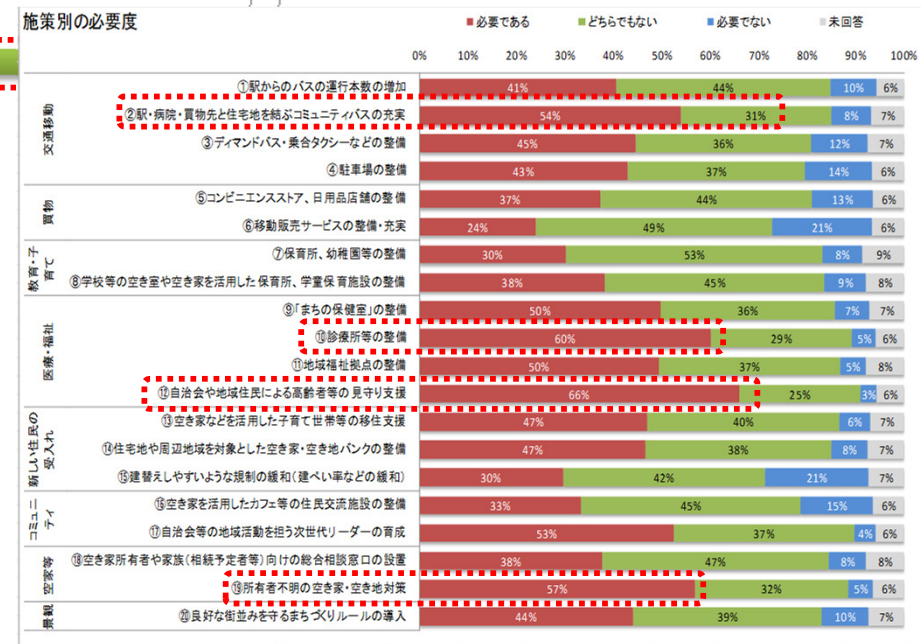
○住環境を維持・向上するために必要と思う対策としては、「コミュニティバスの充実」は3団地共通で多かったが、日用品店舗や診療所等の充実や、見守り支援等については団地毎で違いが出た

■アンケート結果例<明神>

○今後住環境を維持・向上するために最も必要な対策(3つまで)<明神>



○施策別の必要度<明神>



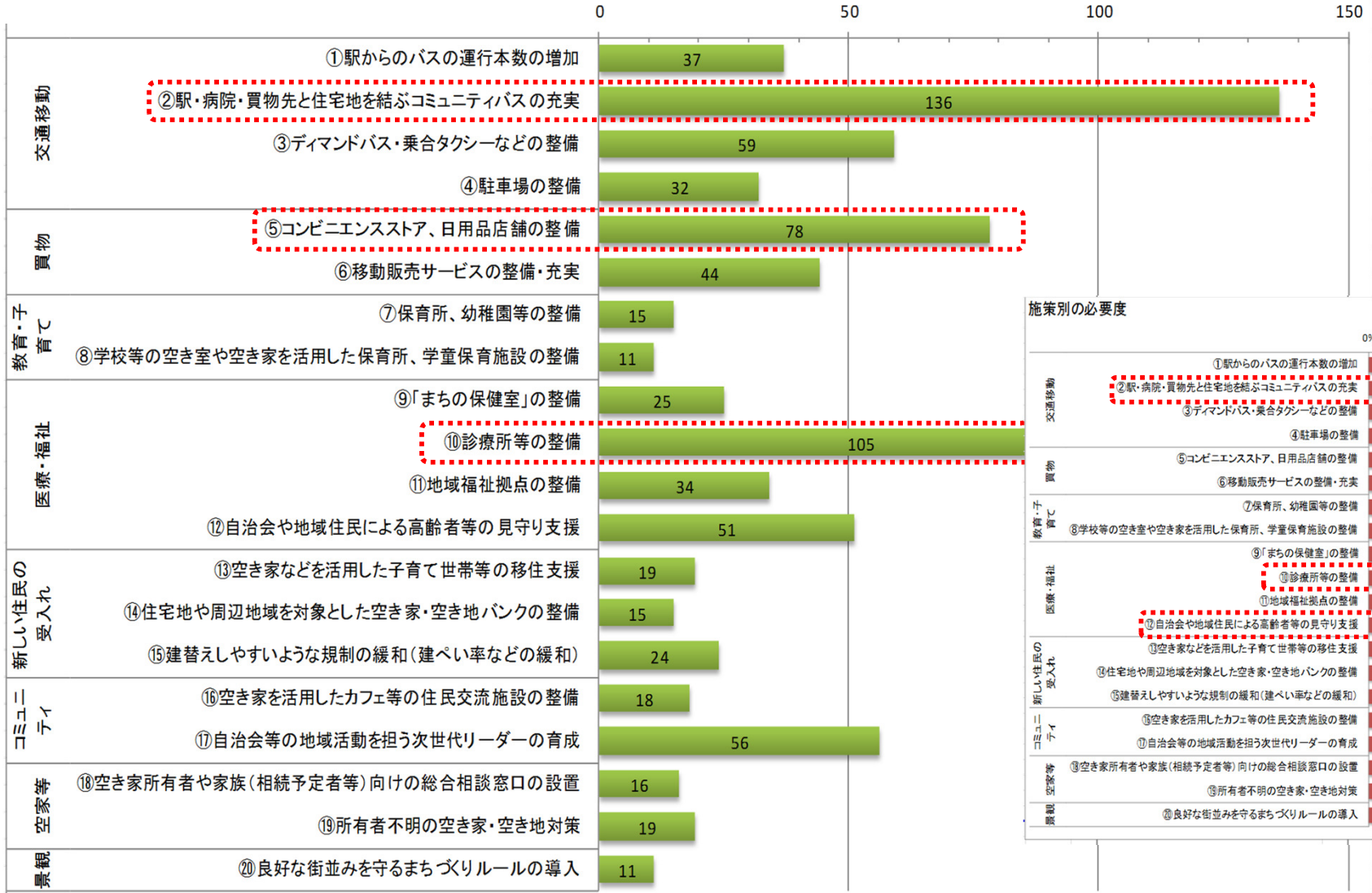


モデル団地における意向調査結果 ⑧

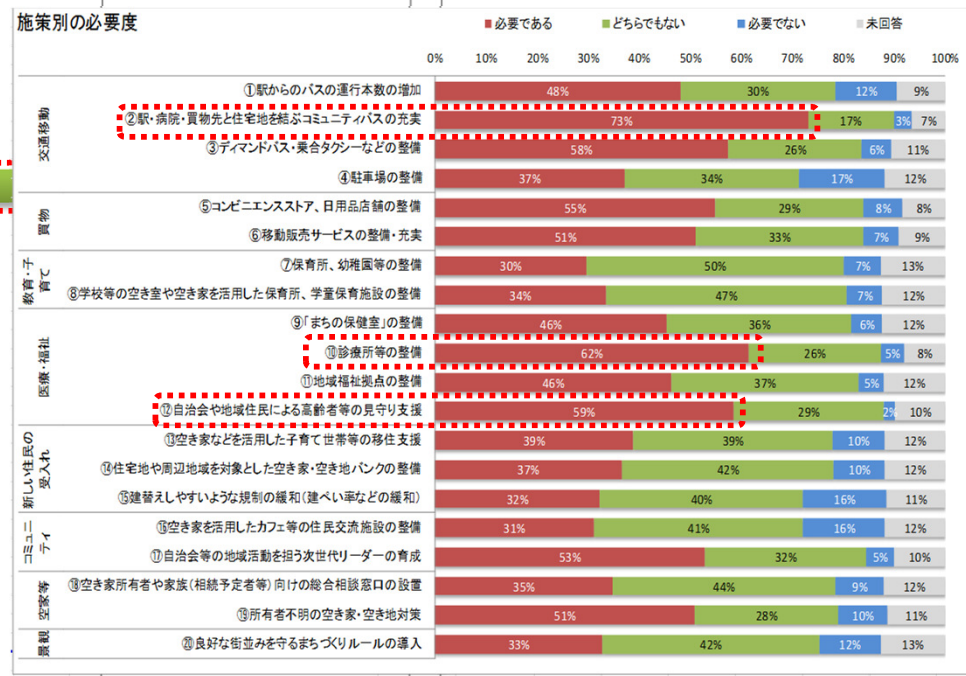
○住環境を維持・向上するために必要と思う対策としては、「コミュニティバスの充実」は3団地共通で多かったが、日用品店舗や診療所等の充実や、見守り支援等については団地毎で違いが出た

■アンケート結果例<朝倉台>

○今後住環境を維持・向上するために最も必要な対策(3つまで)<朝倉台>



○施策別の必要度<朝倉台>

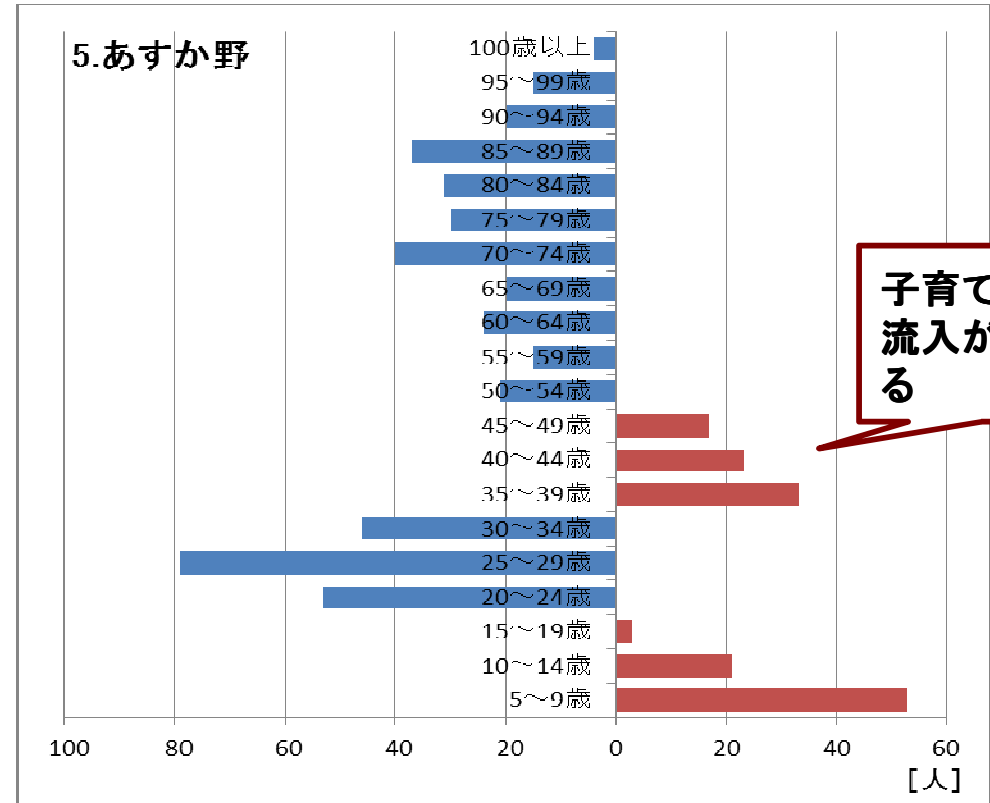




モデル団地における意向調査結果 ⑨

- モデル団地の自治会に対してヒアリングを行ったところ、3団地とも現在は自治会活動が活発であり、清掃・防犯活動やサークル活動を熱心に行っている一方、今後は高齢化により自治会活動を担う人員が不足すること等についての不安がある
- また自治会が独自に生協の移動販売車を呼んだり、奈良交通バスの路線を増やす活動をしているところもある
- 特に生駒市あすか野では、地域の公立中学校の評判が高いことにより、子育て世帯に人気があるとの声があり(国勢調査の結果からも子育て世代が流入している)、地域の良さをアピールすることで転入を促進できる可能性がある

■あすか野の年齢別人口流出入の状況 (2005年から2010年の増減)



子育て世帯の流入がみられる

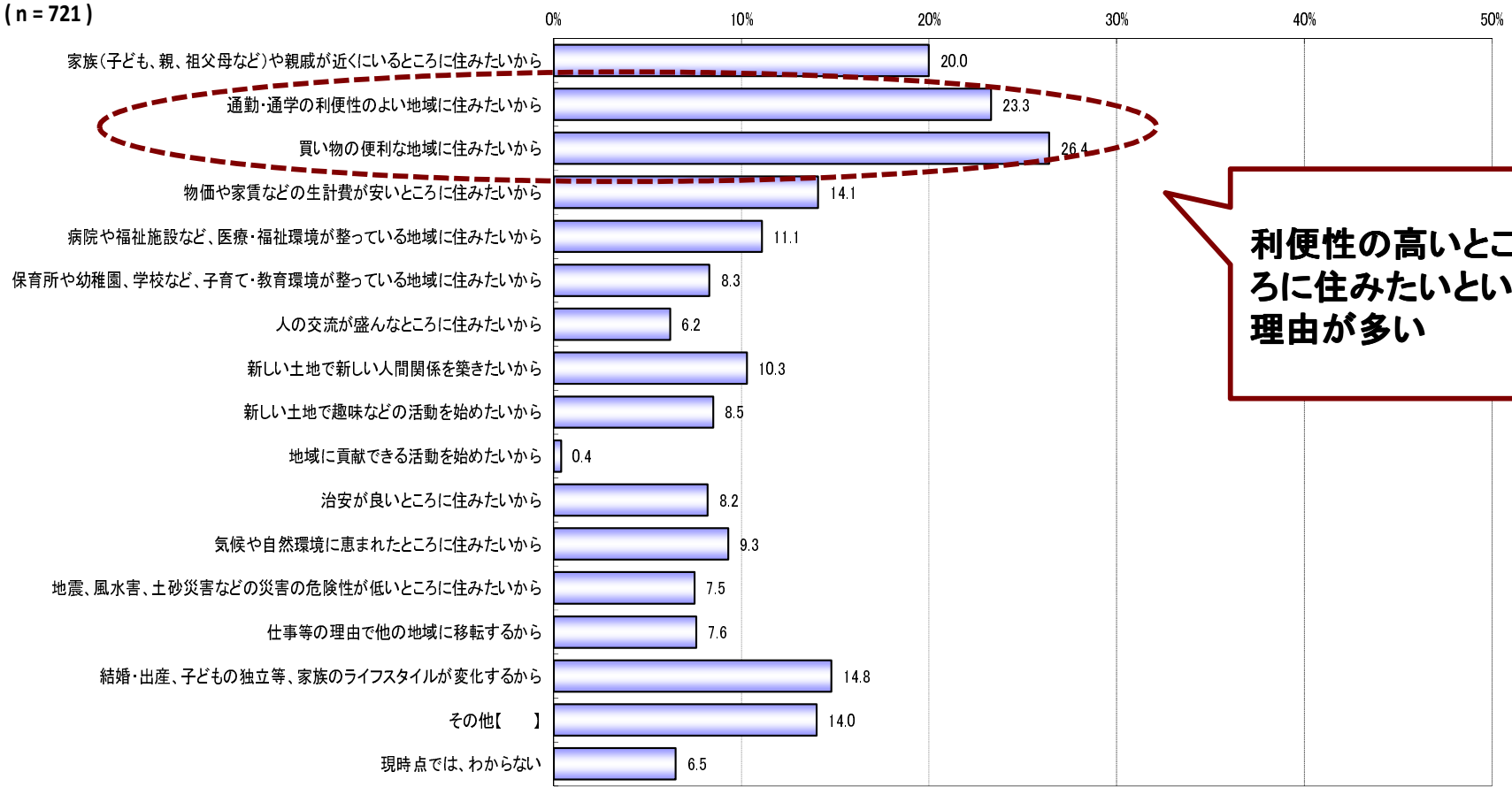


近畿2府5県における住み替えニーズ調査結果 ①

- 近畿2府5県(京都府・大阪府・兵庫県・和歌山県・滋賀県・三重県・奈良県)の住民のうち、住み替え意向のある方(住み替え予定・できれば住み替えたい)に対してwebアンケートを実施
- 各府県100名の回答とし、全体での分析の他、今後郊外住宅地への転入ターゲットとなり得る「子育て世帯」(年齢が20~40代で既婚、かつ、戸建て住宅への住み替え意向有)、「移住を検討する世帯」(年齢が50代以上)での分析も行った

■住み替えを希望する理由 (3つまで)

<全体> (n=721)



利便性の高いところに住みたいという理由が多い

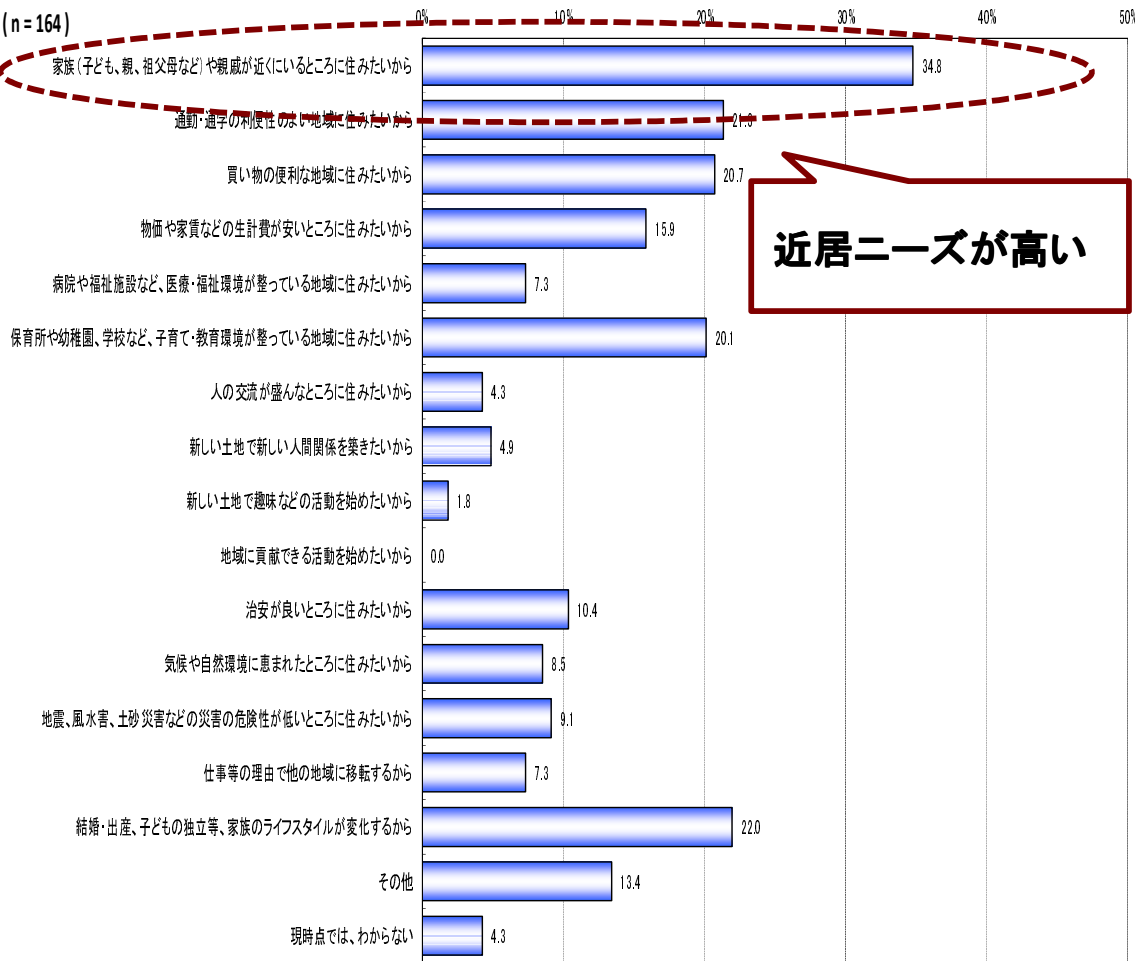


近畿2府5県における住み替えニーズ調査結果 ②

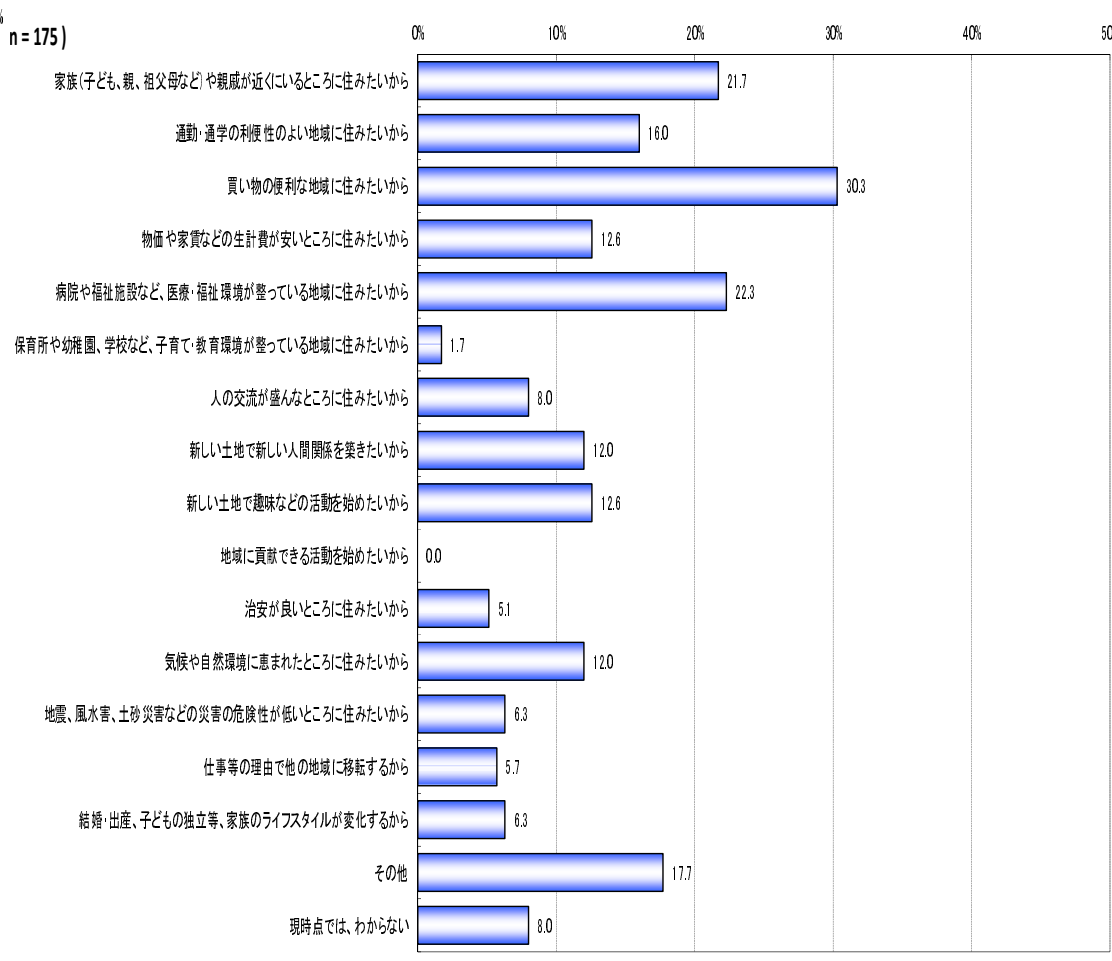
○住み替えを希望する理由として、全体では利便性の高いところに住みたいという理由が多いが、子育て世帯では、家族等との近居ニーズが高いことがわかる

■住み替えを希望する理由（3つまで）

<子育て世帯>



<移住を検討する世帯>





近畿2府5県における住み替えニーズ調査結果 ③

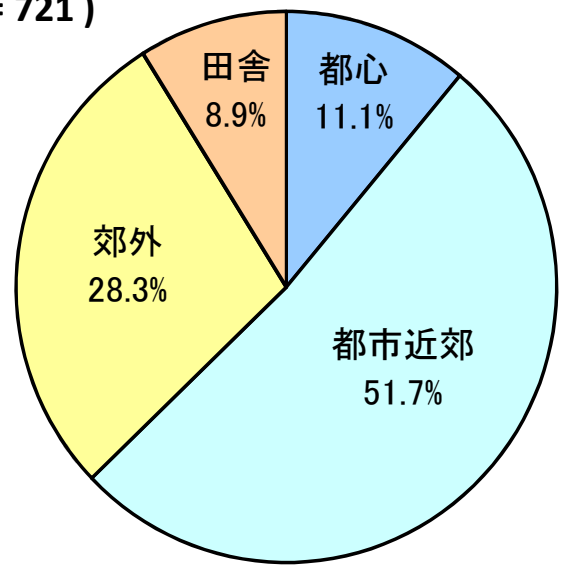
○住み替えを希望する地域としては、「都市近郊」が最も多いが、子育て世帯では「郊外」のニーズも4割近く存在

○一方で「移住を検討する世帯」では「都心」ニーズが高い

■住み替えを希望する地域類型

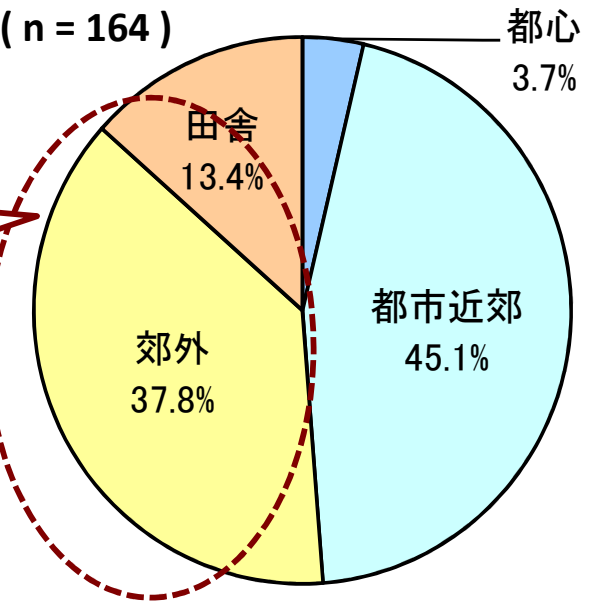
<全体>

(n = 721)



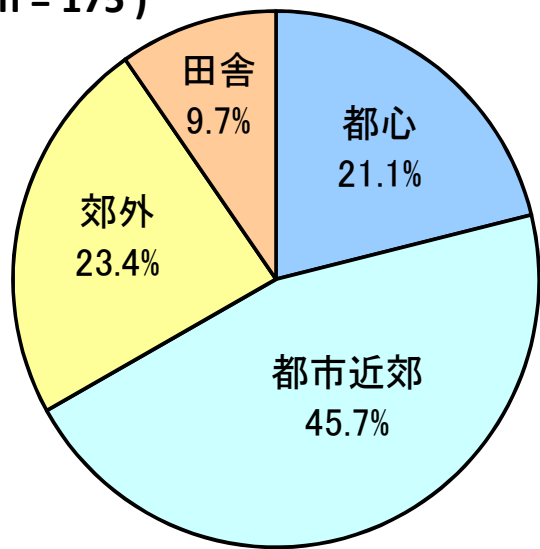
<子育て世帯>

(n = 164)



郊外ニーズが4割近く存在

(n = 175)



<移住を検討する世帯>

「都市近郊」: 都心部より鉄道で約10分程度を想定
「郊外」: 都心部より鉄道で約30分程度・駅からのバス圏に戸建て住宅地が存在する地域を想定
「田舎」: 車利用が中心・田畑等での自給自足も可能な地域を想定



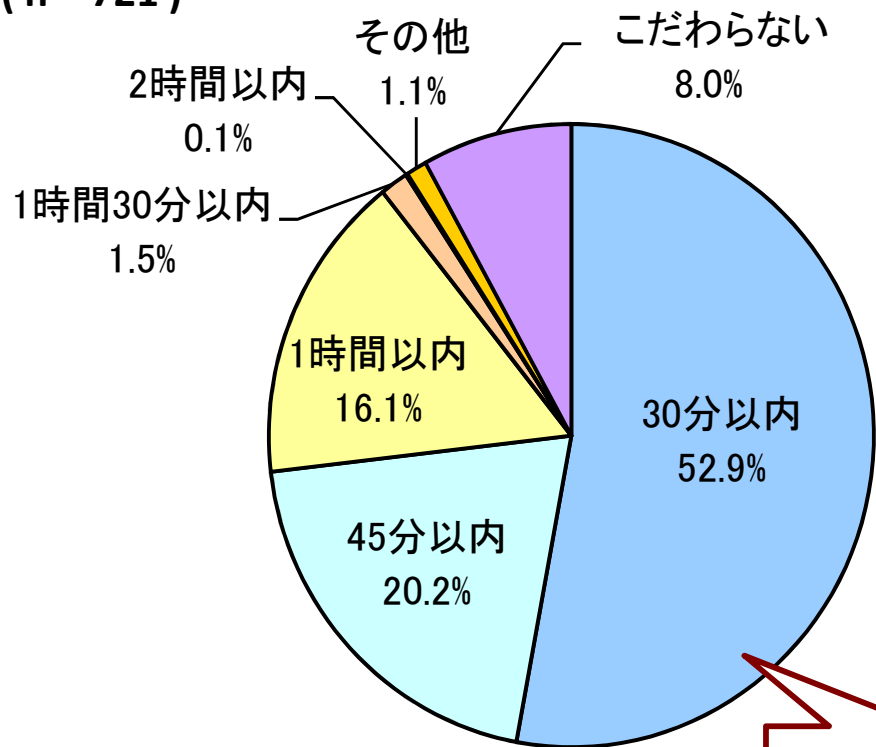
近畿2府5県における住み替えニーズ調査結果 ④

○住み替えたい地域のイメージとして、「通勤・通学までの所要時間」については約7割が「45分以内」までを希望
○また、鉄道駅までは徒歩で行きたいとする世帯が過半数

■住み替え条件—通勤・通学地までの所要時間

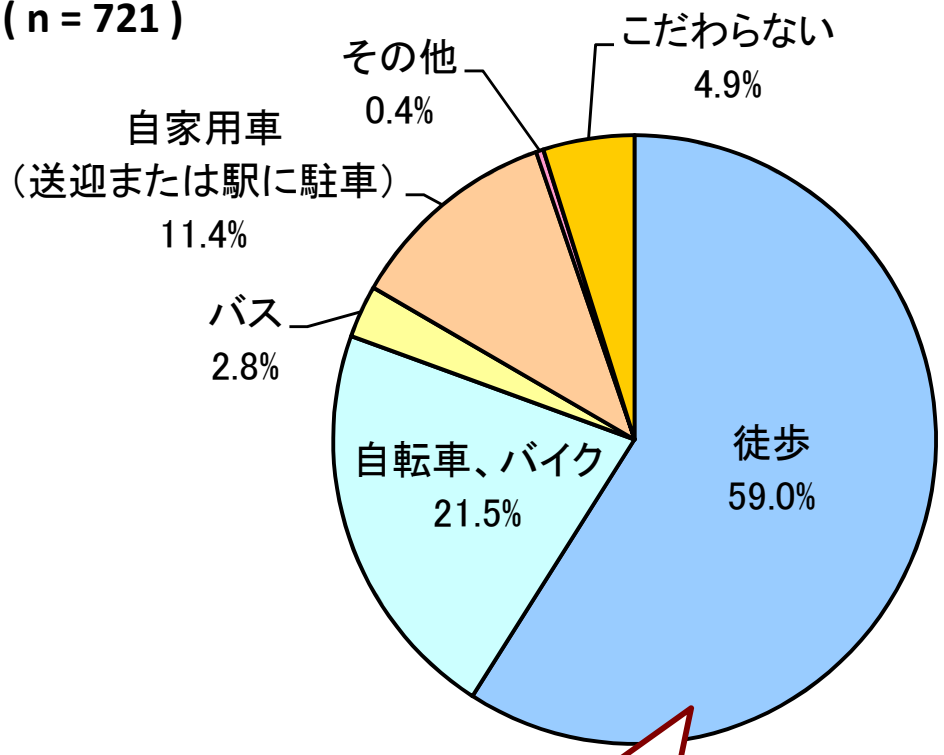
■住み替え条件—鉄道駅までの主な交通手段

<全体>
(n = 721)



どの世帯も「45分以内」までが約7割

<全体>
(n = 721)



どの世帯も「駅まで徒歩」が過半数

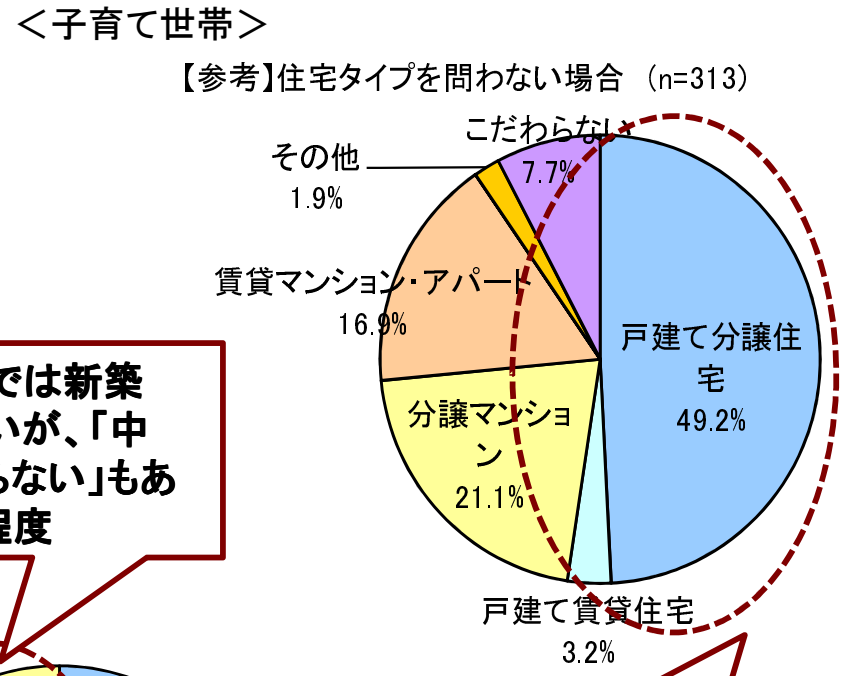
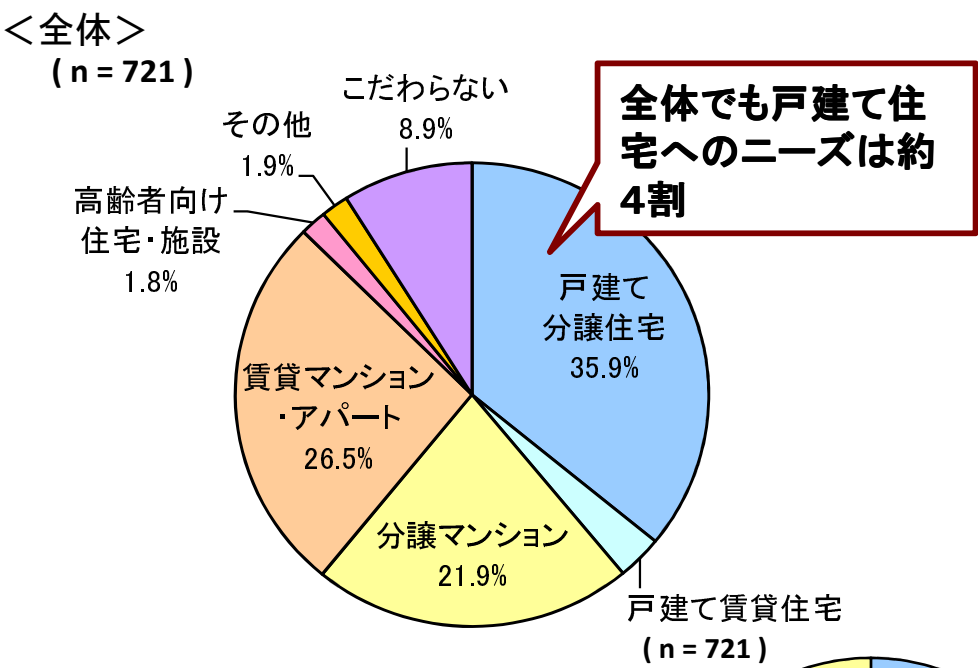


近畿2府5県における住み替えニーズ調査結果 ⑤

○住み替えを希望する住宅のタイプについては、戸建て住宅に対するニーズが全体で約4割、子育て世帯(20代~40代で既婚)では約5割存在する

○また子育て世帯では全体より「新築」に対するニーズが高いが、新築にこだわらない割合も4割程度存在

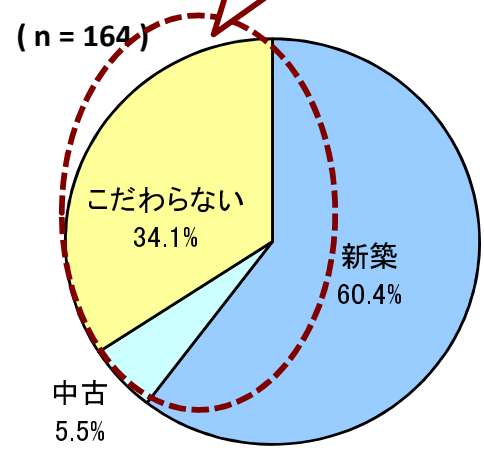
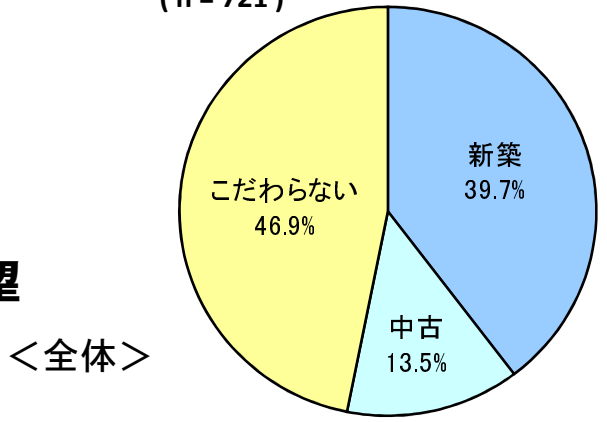
■住み替えを希望する住宅タイプ



子育て世帯では新築ニーズが高いが、「中古」「こだわらない」もあわせて4割程度

子育て世帯では戸建て住宅へのニーズが約5割

■新築・中古の希望

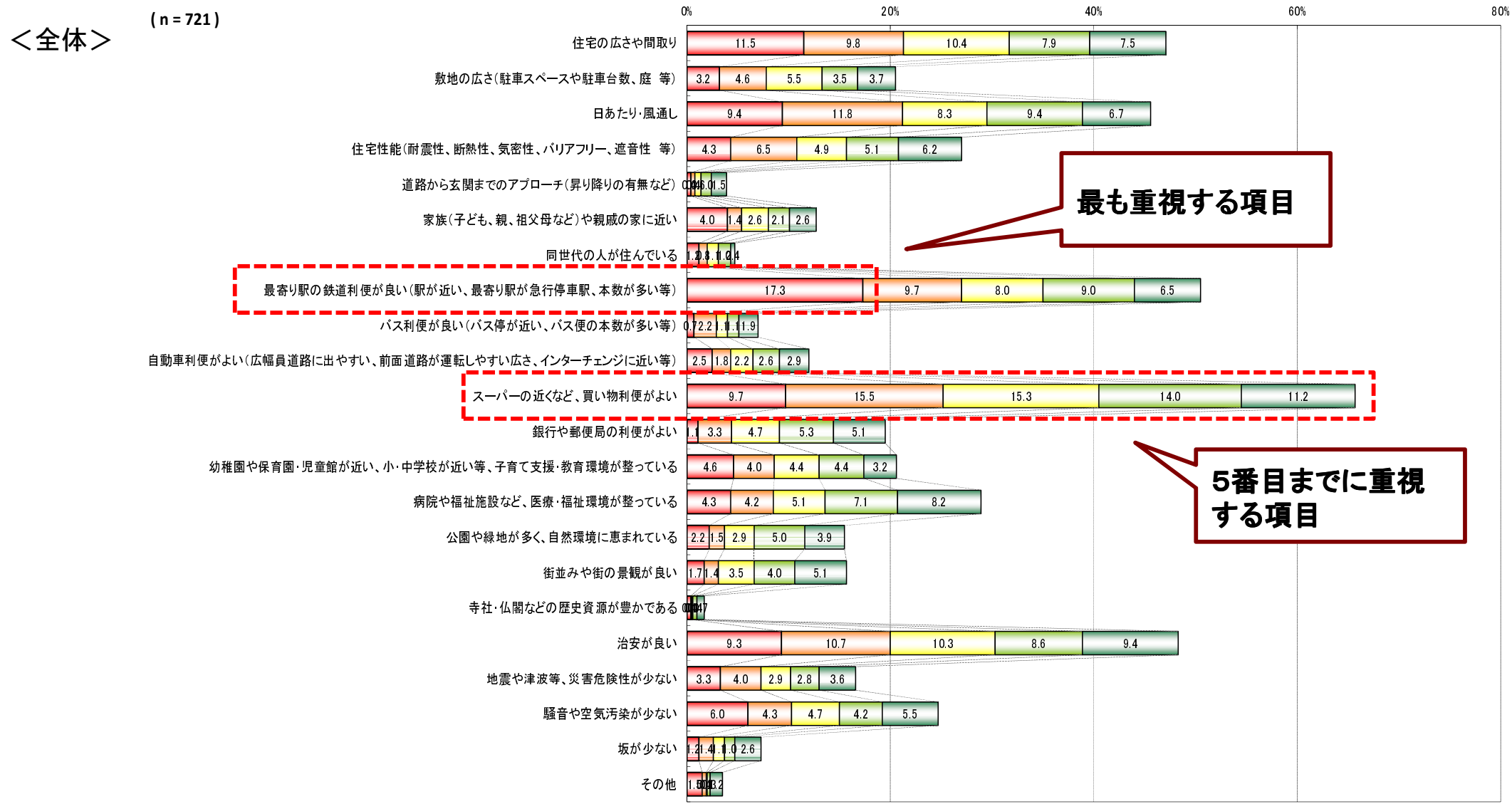




近畿2府5県における住み替えニーズ調査結果 ⑥

○住み替えにあたり周辺環境として重視する項目は、全体では最も重視する項目が「交通利便性」、5番目までに重視する項目が「買い物利便性」である

■住み替え条件—周辺環境として重視する点（5つまで）



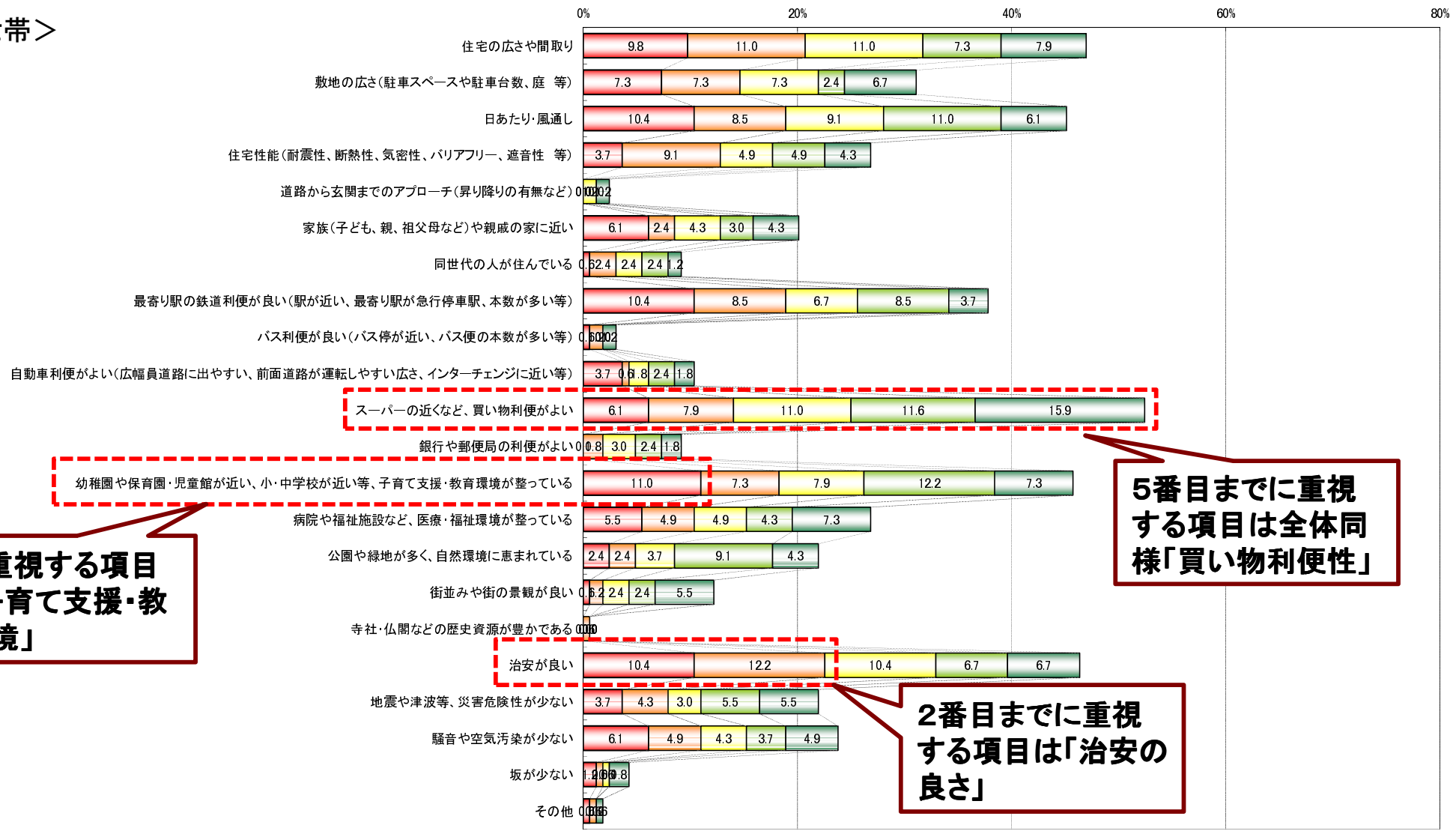


近畿2府5県における住み替えニーズ調査結果 ⑦

○住み替えにあたり周辺環境として重視する項目は、子育て世帯では全体と違い、最も重視する項目が「子育て支援・教育環境」、2番目までに重視する項目が「治安が良い」であった(5番目までに重視する項目は全体と同じく「買い物利便性」)

■住み替え条件—周辺環境として重視する点 (5つまで)

<子育て世帯>



最も重視する項目は「子育て支援・教育環境」

5番目までに重視する項目は全体同様「買い物利便性」

2番目までに重視する項目は「治安の良さ」